

「THE 九州晩餐会」への想い

ホテル日航熊本 宴会部長 桃木 潤(ももき じゅん)



現在、2020年の東京オリンピックに向け全国で“おもてなしの向上”への取り組みが熱を帯びています。ホテルFBを担当する者にとって永遠の課題でもあります。

昨年2月、ホテル椿山荘東京にて開催された「THE晩餐会」は、HRS設立30周年記念事業ということもあり、全国から約50名の1級レストランサービス技能士が結集し、サービスの様式美を追求した画期的なイベントでありました。私共ホテル日航熊本からも私を含め3名が参加しました。晩餐会を主催したホテル椿山荘東京は私の前職(藤

田観光)でもあり、HRS活動推進の中心的存在として万全の準備と取り仕切りで、結果は大成功でした。私にとっては古巣での最高の経験であったと同時に、その時にすでに熊本でも開催したいと漠然と考えていました。

ただ、その2か月後、熊本地震が発生し、当地は大変な状況に陥りました。しかしながら全国の数多くの皆様の支援のおかげにて熊本は確実に復興を遂げつつあります。

「熊本からの感謝の気持ちと、元気な熊本を全国へ発信したい」との思いから晩餐会の開催を強く決意しました。

震災後、掲げられた言葉“つながろう九州”。九州のすばらしさをここ熊本から発信することをコンセプトに決め、地方料理の素晴らしさを提唱した美食評論家「キュルノンスキー氏」をテーマに、関連団体様と九州の協力ホテル様の絶大なる協力を得て、究極の九州フランス料理と最高のサービスでもてなすイベントとしての計画がまとまりました。タイトルは前年開催のイメージを踏襲し、宮中晩さん会ならぬ「THE九州

晩餐会」。

お客様を魅了するおもてなしとは、究極のフランス料理・サービスとは何か。お客様にも、またお迎えするスタッフにも、このような晩餐会を経験することを通してあらためてホテルの素晴らしさを再認識していただけることを強く願いながら、共感、協働の意識を絶やさぬように準備をすすめてまいりました。

そして2017年6月26日、ホテル日航熊本で「THE九州晩餐会」は開催されました。

結果は、まさに現場の会場に漂う心地よい空気感がすべてを物語っていたと思います。皆の熱き思いが成就し、永くサービスに従事してきた本当に良かったと感じた瞬間でした。

ここに、最初の一歩を力強く踏み出して頂いた東京開催「THE晩餐会」の関係者の皆様に最大級の敬意を表します。

そしてこの度の熊本開催にご協力頂きました、すべての関係者の皆様に心より感謝申し上げます。



